

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法	1
第2章 調査結果の詳細	3
I 在宅の方を対象とした調査	3
1 集計の概要	3
2 調査結果	5
1) ご本人について	5
2) 障害と健康について	12
3) 相談や福祉の情報について	42
4) 日中活動や仕事について	59
5) 外出やバリアフリーについて	76
6) 福祉サービスについて	90
7) 収入・利用者負担について	109
8) 災害対策について	115
9) 将来について	121
10) 自由意見	127
II 施設に入所している方を対象とした調査	128
1 集計の概要	128
2 調査結果	131
1) ご本人について	131
2) 施設入所について	134
3) 施設での生活について	138
4) 今後の暮らし方について	151
5) 相談や福祉の情報について	157
6) 自由意見	160

Ⅲ 18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査	161
1 集計の概要	161
2 調査結果	163
1) ご本人について	163
2) 障害と健康について	169
3) 相談や福祉の情報について	190
4) 教育・保育について	200
5) 外出やバリアフリーについて	220
6) 福祉サービスについて	227
7) 収入・利用者負担について	241
8) 災害対策について	245
9) 将来について	249
10) 自由意見	253
Ⅳ サービス事業者を対象とした調査	254
1 集計の概要	254
2 調査結果	256
1) 事業運営について	256
2) 職員について	265
3) サービス提供について	270
4) 自由意見	281
資料編	
1 調査集計結果（実数）	282
2 調査票	331

1 調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

第4期障害福祉計画の策定及び障害者計画の見直しにあたり、新宿区在住の障害者・障害児の生活実態、障害福祉サービス等の利用意向及び利用状況等を把握するための調査について、抽出された該当者に対し「区民の生活のニーズに関する調査」として実施しました。

(2) 調査の対象

調査の種類		調査の対象	抽出方法
I	在宅の方を対象とした調査	身体障害者手帳、愛の手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方、難病医療費等受給者のうち障害者総合支援法の対象となる難病患者、障害者手帳をお持ちではなく障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用している18歳以上の区民の方	障害の種類ごとに抽出調査
II	施設に入所している方を対象とした調査	新宿区が施設入所支援と療養介護の支給決定を行っている区民の方。施設所在地に住民票を移した方を含みます。	悉皆調査
III	18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査	18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方、小児慢性疾患医療費等受給者のうち障害者総合支援法の対象となる難病患者、障害者手帳をお持ちではなく障害福祉サービス、地域生活支援事業、障害児通所支援を利用している区民の方及び区内小中学校の情緒障害等通級指導学級を利用している児童・生徒並びにその保護者の方	悉皆調査
IV	サービス事業者を対象とした調査	新宿区内にある障害福祉サービス等を提供している事業者、特例子会社	悉皆調査

(3) 調査方法

調査票を郵送配布し、無記名で郵送回収する方法で実施しました。

(4) 調査期間

平成25年11月25日から平成25年12月9日までの期間

(5) 配布・回収状況

配布・回収状況	配布数	回収数	回収率
1 在宅の方	4,797	2,836	59.1%
身体障害	3,351	1,759	52.5%
知的障害	705	386	54.8%
精神障害	1,386	489	35.3%
難病患者	705	587	83.3%
2 施設に入所している方	204	132	64.7%
3 18歳未満の方と保護者の方	743	366	49.2%
4 サービス事業者の方	129	89	69.0%
全体	5,873	3,423	58.3%

(6) 調査結果について

調査結果については、以下のように整理を行っています。

- 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、100%にならない場合があります。
- 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を越えます。
- 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が％（小数点以下第1位まで）を表示しています。
- 回答結果を見やすくするため、グラフや表では無回答など一部の項目を省略している場合があります。
- 障害別の集計では、2つ以上の障害を重複してお持ちの方は、それぞれの障害の集計結果に含まれています。このため、障害別の集計を合計したのべ人数は、全体の人数よりも多くなります。